

平成 27 年度 事業報告書

社会福祉法人 淑徳福祉会

特別養護老人ホーム淑徳共生苑
淑徳共生苑短期入所生活介護事業所
淑徳共生苑通所介護事業所
淑徳共生苑認知証対応型通所介護事業所
淑徳共生苑居宅介護支援事業所
淑徳おゆみ診療所
千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

目 次

1.	総括	1
2.	役員会開催報告	2
3.	職員配置・入退職状況	4
4.	施設内・外研修参加報告	5
5.	実習・施設見学実施報告	7
6.	年間行事及び地域交流報告	9
7.	各事業別報告	
7-1.	特別養護老人ホーム	
(1)	施設実績	11
(2)	入居者状況	12
(3)	施設相談員・介護支援専門員	16
(4)	施設看護	17
(5)	各ユニット	19
7-2.	短期入所生活介護事業所	23
7-3.	通所介護事業所・認知症対応型通所介護事業所	25
7-4.	居宅介護支援事業所	29
7-5.	淑徳おゆみ診療所	30
7-6.	千葉市あんしんケアセンター松ケ丘	31
7-7.	栄養	35
8.	各委員会・部会活動報告	38
9.	防災対策報告	44
10.	法話会活動報告	45
11.	ボランティア受入報告	48
12.	家族会実施報告	50

1. 総括

介護保険制度改正・介護報酬改定に伴い減収も考えられたが、各事業内容とも概ね良い結果で、これまでにない安定した実績を得ることができた。主な要因は、介護人材等の確保が厳しい状況でも、各事業部門の中核職員の成長や様々な取組みによって運営体制の安定が図られたことである。地域包括支援センター（あんしんケアセンター松ヶ丘）の受託事業も、担当地域の福祉活動拠点として順調な活動実績をとなっている。診療所事業も外来受診者等の増加に伴い、収益も安定してきており、地域住民の医療ニーズや健診等の事業活動も図ることができた。全体的には各事業・施設と医療機関が一体となった特長を活かし、多機能な施設としてサービス内容及び質の高いケアの充実が図れた一年であった。

施設については、これまで重度化・病弱化等の課題等から退所も多くなってきたが、入院者数は少なく、16人で入院日数は最も少ない271日となった。また、退所者数も少なく13人で、そのうち死亡退所者は11人で看取り介護で9人を見送っている。現在も看取り対象者は常時10人以上となっており、終末期から様々な状態の入所者も多い状況で、個別ケアを中心に、その人らしい生活を過ごしていただけるよう、これからも在宅介護サービスも含めた質の高いサービスに取り組んでいく。

各実習等も順調に実施でき、大学との相談援助実習指導業務の受託事業も円滑に行うことができた。今後も実習内容に合わせて、実践力を育む実習教育の拠点として多くの役割も果たしていく。

社会福祉法人改革や介護人材不足など様々な課題を抱えながらも、今後も事業内容の充実及び安定した運営を図る。特に、大学との連携や地域の関係機関及び団体等と協力し合い、これまで以上に事業活動の周知を図り、当法人として理念に基づく地域及び社会貢献を果たしていくとともに、安定した事業内容にも積極的に取り組んでいく。

施設長 林 房吉

2. 役員会開催報告

｜ 理事会開催報告

回	期日	出席理事	出席監事	報告事項及び議案
第1回	5月12日	6名	1名	第1号議案 平成26年度事業報告（案）について 第2号議案 平成26年度決算報告（案）について
第2回	9月1日	5名	1名	第1号議案 平成27年度社会福祉法人淑徳福祉会第一次補正予算（案）について 第2号議案 社会福祉法人淑徳福祉会定款の一部変更について 第3号議案 役員等報酬内規の一部改正について 第4号議案 社会福祉法人淑徳福祉会役員等選任について
第3回	9月7日	7名	2名	第1号議案 社会福祉法人淑徳福祉会（代表理事）の選任について
第4回	12月2日	7名	2名	第1号議案 平成27年度社会福祉法人淑徳福祉会第二次補正予算（案）について 第2号議案 社会福祉法人淑徳福祉会経理規程の一部改正について
第5回	3月16日	7名	1名	第1号議案 平成27年度社会福祉法人淑徳福祉会第三次補正予算（案）について 第2号議案 平成28年度社会福祉法人淑徳福祉会事業計画（案）について 第3号議案 平成28年度社会福祉法人淑徳福祉会当初予算（案）について 第4号議案 平成28年度社会福祉法人淑徳福祉会諸規定の制改定について 第5号議案 平成27年度社会福祉法人等指導監査及び介護保険施設等実施の結果について 第6号議案 複合機の入替えについて 第7号議案 送迎車両入替えについて

| 評議員会開催報告

回	期日	出席評議員	出席監事	報告事項及び議案	
第1回	5月12日	13名	1名	第1号議案	平成26年度事業報告(案)について
				第2号議案	平成26年度決算報告(案)について
第2回	9月1日	13名	1名	第1号議案	平成27年度社会福祉法人淑徳福祉会第一次補正予算(案)について
				第2号議案	社会福祉法人淑徳福祉会定款の一部変更について
				第3号議案	役員等報酬内規の一部改正について
				第4号議案	社会福祉法人淑徳福祉会役員等選任について
第3回	12月2日	11名	2名	第1号議案	平成27年度社会福祉法人淑徳福祉会第二次補正予算(案)について
				第2号議案	社会福祉法人淑徳福祉会経理規程の一部改正について
第4回	3月16日	14名	1名	第1号議案	平成27年度社会福祉法人淑徳福祉会第三次補正予算(案)について
				第2号議案	平成28年度社会福祉法人淑徳福祉会事業計画(案)について
				第3号議案	平成28年度社会福祉法人淑徳福祉会当初予算(案)について
				第4号議案	平成28年度社会福祉法人淑徳福祉会諸規定の制改定について
				第5号議案	平成27年度社会福祉法人等指導監査及び介護保険施設等実施の結果について
				第6号議案	複合機の入替えについて
				第7号議案	送迎車両入替えについて

3. 職員配置・入退職状況

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

特養（短期入所含む）入所定員 100 名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
施設長（管理者）	1	1	-
生活相談員	2	3	-
看護師	3	4	-
主任介護職員	1	1	-
介護職員	34	47	9
栄養士	1	1	-
介護支援専門員	1	1	-
医師	1	1	-
機能訓練指導員	1	1	-
事務長	-	1	-
事務員・庶務員	-	4	1
宿直員	-	3	3
計	45	68	14

通所（認知症対応型含む）利用定員 35 名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(2)	(2)	-
生活相談員	2	2	-
看護師	1	2	2
介護職員	5	12	6
運転手	-	3	3
計	8 (10)	19 (21)	8

居宅介護支援事業所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(1)	(1)	-
介護支援専門員	1	3	1
計	1 (2)	3 (4)	1

診療所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
医師	1	2	1
看護師	-	1	1
事務員	-	2	2
放射線技師	-	1	1
薬剤師	-	2	2
計	1	9	7

あんしんケアセンター松ヶ丘

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(1)	(1)	-
保健師・看護師	1	1	-
主任介護支援専門員	1	1	-
社会福祉士	1	1	-
事務員	-	1	-
介護支援専門員	-	1	1
計	3 (4)	5 (6)	1

職員入退職状況（平成 27 年度中）

職種	入職	有期⇄正規雇用	退職
正規雇用職員	3	0	6
有期契約職員	7	3	6
計	10	3	12

4. 施設内・施設外研修参加報告

| 内部研修

月	日付、内容、参加人数		
4 月	28 日	私たちに求められていること	33 名
5 月	12 日	看取りケアについて	27 名
	26 日	基礎介護技術（食事）	23 名
6 月	9 日	食中毒について	30 名
	23 日	やってみよう口腔ケア	20 名
7 月	14 日	基礎介護技術（排泄）	24 名
	28 日	水分摂取について	20 名
8 月	11 日	事故防止対策について	23 名
9 月	9 日	感染症（インフルエンザ・ノロウイルス）について	25 名
	15 日	住環境について	21 名
	29 日	基礎介護技術（入浴）	23 名
10 月	6 日	権利擁護・虐待について	23 名
11 月	10 日	喀痰吸引について	20 名
	24 日	地域包括支援センターについて	27 名
12 月	1 日	デイサービスについて	25 名
	8 日	褥瘡について	16 名
1 月	19 日	腰痛予防（職員向け）	18 名
	26 日	居宅介護支援（職員向け）	26 名
2 月	2 日	低栄養について	26 名
	23 日	基礎介護技術（トランス）	19 名
3 月	6 日	身体拘束廃止について	28 名
	16 日	スキルアップ研修	26 名
			計 523 名

外部研修

月	日付、内容、参加人数		
5月	28日	高齢者栄養管理研修会	1名
6月	16日	給食施設栄養衛生管理研修	1名
9月	3日	シニアリーダー研修	1名
	28日	生活相談員・介護職員・栄養（給食）職員研修会	3名
10月	2、3日	第9回日本介護支援専門員協会全国大会 in 千葉（日本介護支援専門員協会）	5名
	9日	生活相談員・介護職員・栄養（給食）職員の研修会	3名
	31日	地域医療連携推進講演会	2名
11月	18日	事業場におけるストレスチェック制度実施のための説明会	1名
12月	1日	「居宅・施設介護支援専門員」現任研修	1名
	9日	苦情解決の研修	1名
1月	19～22日	認知症介護実践研修	1名
	21、22日	第4回認知症介護実践者研修（講義）	1名
	25～31日	第4回認知症介護実践者研修（自施設実習）	（1名）
2月	1～25日	第4回認知症介護実践者研修（自施設実習）	（1名）
	9日	中央区介護支援専門員研修	2名
	12日	千葉市地域密着型サービス事業所集団指導	1名
	23日	第2回施設長研修	1名
3月	3日	第4回認知症介護実践者研修（自施設実習 発表）	（1名）
	11日	在宅医療コーディネーター研修会	1名
	30日	第2回生浜地区地域福祉連携会議	2名
			計 28名

5. 実習・見学実施報告

見学・実習（大乘淑徳学園関連）実施状況

月	日程	学部等	内容	人数
4 月	1～12 月	総合福祉研究科	臨床心理配属実習	1 名
7 月	3 日	総合福祉	社会福祉士実習事前オリエンテーション	8 名
	10 日	淑徳短大	介護福祉士実習事前オリエンテーション	1 名
8 月	3 日～21 日（15 日間）	総合福祉	社会福祉士実習	4 名
	3 日～31 日（23 日間）	淑徳短大	介護福祉士実習（2 年生）	1 名
9 月	1～18 日（15 日間）	総合福祉	社会福祉士実習	4 名
	10 日	コミュ政策	高大連携事業における東金商業高校 体験学習指導	160 名
10 月	1～3 月	総合福祉研究科	臨床心理配属実習	1 名
	19 日～30 日（8 日間）	総合福祉	相談援助実習（導入実習）4 グループ	計 77 名
11 月	5～17 日（10 日間）	総合福祉	相談援助実習（導入実習）5 グループ	計 89 名
1 月	25 日～30 日（6 日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習）1 グループ	計 24 名
2 月	1 日～3 月 5 日（24 日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習）4 グループ	計 97 名
3 月	7～19 日（12 日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習）2 グループ	計 50 名
				計 517 名

見学・実習（他学校・他団体）実施状況

月	日程	内容	人数
4月	9日	中国精華大学より施設見学	9名
	17日	佐藤総合中国人施設見学	6名
5月	1日	武蔵野大学施設見学	10名
	25日～6月5日	市立養護学校職場体験研修	1名
6月	16日	生浜地区社協施設見学	30名
	25日	ベトナム人介護福祉士候補生施設見学	37名
7月	1、2日	岩淵薬品新人職員研修	6名
9月	5日	(財)総合健康推進財団施設見学	46名
	8日	緑区おゆみ野地区民生委員施設見学	17名
	14日～18日	生実学校「現場体験学習」	1名
	16日	帝京平成大学看護学部施設見学	22名
	24日～10月6日	市立養護学校職場体験研修	1名
10月	26日～28日	介護労働安定センター介護労働実習	3名
	27日	淑徳大学2期生施設見学	5名
11月	3日	花輪町健康サークル施設見学	10名
	27日	日中友好会館学生施設見学	72名
	27日	マハヤナ学園施設見学	14名
	30日～12月4日	生実学校「職場実習」	1名
1月	18日～29日	市立養護学校現場実習	1名
			計 292 名



淑徳大学相談援助実習（基礎実習）

6. 年間行事及び地域交流報告

月	日付	場所	行事	内容
4 月	1 日～ 2 日 24 日 30 日	外出 苑内 苑内 外出	花見月間 新任者研修 降誕会 鯉のぼり見学	特養・デイにてお花見のため外出 新任職員を対象とする研修 宗教行事等 近隣の村田川への鯉のぼり見学
5 月	10 日 31 日 31 日	苑内 苑内 地域	「母の日」会 家族会清掃奉仕・総会・懇談会 生実町内運動会	カーネーションプレゼントなど 特養家族会による清掃奉仕・総会・懇談会 職員が地域の催しに参加
6 月	18 日 25 日	苑内 地域	父の日バイキング 大巖寺幼稚園・慈光保育園交流会	喫茶サイフォンにて居酒屋風におやつ提供 特養を園児が訪問し、遊戯などを実施
7 月	1 日～ 2 日 5 日 10 日 26 日	苑内 外出 地域 苑内 苑内	七夕 千葉公園ハスの花見学 生実町商工業会バーベキュー大会 盂蘭盆会 納涼祭	本物の竹を用意し、苑内に短冊を設置 千葉公園にてハスの花を見学 生実町内会役員等との懇談会 宗教行事及びボランティア演芸披露 夏祭りを開催。家族、地域関係者など招く
8 月	15 日	苑内	生実町花火大会	地元花火大会を4階月影堂などから見学
9 月	13 日 17 日 26 日	苑内 苑内 地域	敬老会 大巖寺幼稚園・慈光保育園児との交流 淑徳大学開学50周年記念式典・祝賀会	敬老のお祝い 特養を園児が訪問し、遊戯などを実施 職員が式典・祝賀会に参加
10 月	11 日 24 日	地域 外出	生実神社祭礼 シルバー合唱祭	奉納・演芸鑑賞 ハーモニープラザにて合唱祭実施
11 月	3 日	地域	生浜地区体育祭	職員が地域の催しに参加
12 月	4 日 7～11 日 17 日 25 日	苑内 苑内 苑内 苑内	成道会 焼き芋会 クリスマス会 餅つき会	宗教行事及びボランティア演芸披露 サイフォンにて焼き芋会実施 特養・デイにてイベント開催 玄関前にて餅つき大会開催及び鏡餅制作
1 月	1 日 7 日 10 日 14、21 日	苑内 苑内 外出 外出	共生苑初詣 新春ニューイヤーコンサート 生実町内会新年会 初詣	共生苑内での初詣を実施 淑徳大学看護栄養学部生のコーラス慰問 職員が地域の催しに参加 大巖寺への参拝
2 月	3 日 5 日	地域 苑内	大巖寺節分会 節分・豆まき 涅槃会	施設内・外で節分行事を行う 宗教行事及びボランティア演芸披露
3 月	1 日～ 5 日 10、17 日	苑内 地域 外出	雛祭り 大学車椅子バスケット イチゴ狩り	正面玄関に雛壇を設置 選抜大会（長谷川良信杯）に出席 特養合同外出レクとしてイチゴ狩りへ

(特養ユニット毎の行事は P19～、デイサービスの行事は P28 に掲載)

- ・ 毎週木曜：特養合同レク
- ・ 毎週金曜：法話会
- ・ 第2、4水曜：外部講師によるミュージックケア（特養・デイ）
- ・ 第3水曜：外部講師によるリハビリレク（特養・デイ）
- ・ 隔週金曜日：ボランティアによる演奏披露（特養）
- ・ 月2回：ボランティアによる書道教室（特養）
- ・ 月2回：ボランティアによる書道教室（デイ）
- ・ 月1回：ボランティアによる生け花教室（デイ）



シルバー合唱祭



お花見レク

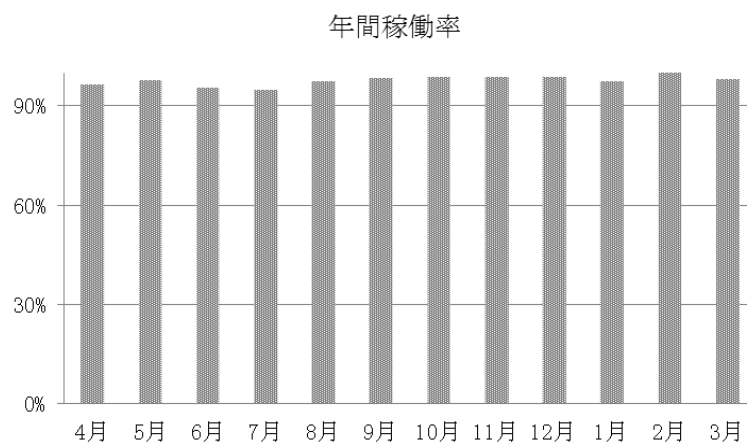
7. 各事業別報告

7-1. 特別養護老人ホーム

(1) 施設実績

| 年間稼働率

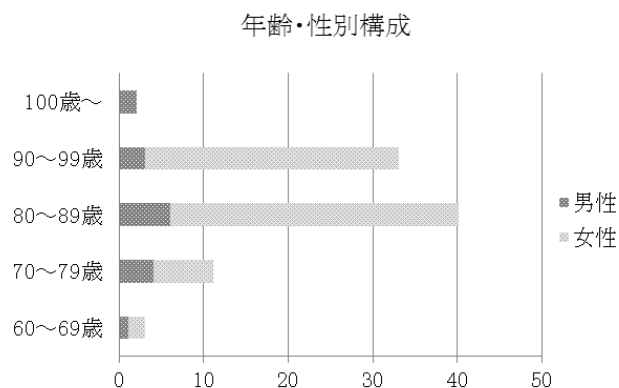
月	延べ人数						稼働率
	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4 月	180	390	557	862	612	2,601	96.33%
5 月	184	403	587	937	620	2,731	97.89%
6 月	180	390	570	841	599	2,580	95.56%
7 月	186	372	589	875	619	2,641	94.66%
8 月	161	369	599	956	631	2,716	97.35%
9 月	164	330	611	923	629	2,657	98.41%
10 月	185	341	608	913	710	2,757	98.82%
11 月	180	330	571	900	686	2,667	98.78%
12 月	186	372	646	866	686	2,756	98.78%
1 月	185	371	595	842	727	2,720	97.49%
2 月	174	319	636	783	696	2,608	99.92%
3 月	155	341	646	806	790	2,738	98.14%
月平均							97.68%



(2) 入居者状況 (平成 28 年 3 月 31 日時点)

| 年齢・性別構成

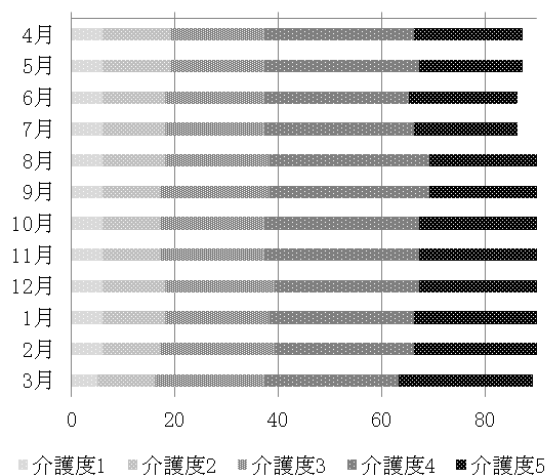
年齢	男性	女性	計
60～69 歳	1	2	3
70～79 歳	4	7	11
80～89 歳	6	34	40
90～99 歳	3	30	33
100 歳～	2	0	2
合計	16	73	89
平均年齢	85.7 歳	87.9 歳	87.5 歳



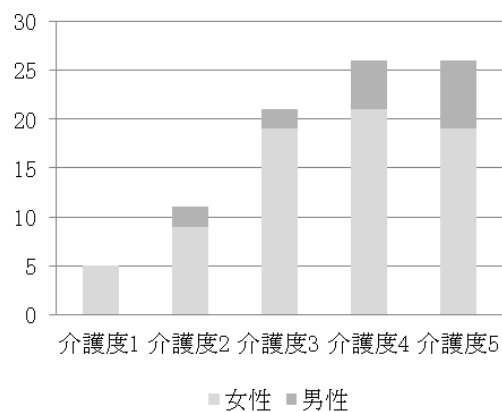
| 性別・要介護度別入居者数 (数値は月末時点)

月	介護度 1		介護度 2		介護度 3		介護度 4		介護度 5		合計	平均介護度
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
4 月	0	6	3	10	5	13	4	25	7	14	87	3.53
5 月	0	6	3	10	5	13	5	25	6	14	87	3.52
6 月	0	6	3	9	5	14	5	23	6	15	86	3.53
7 月	0	6	3	9	5	14	5	24	6	14	86	3.52
8 月	0	6	3	9	5	15	5	26	6	15	90	3.54
9 月	0	6	3	8	5	16	5	26	6	15	90	3.56
10 月	0	6	3	8	4	16	5	25	7	16	90	3.59
11 月	0	6	3	8	4	16	5	25	7	16	90	3.59
12 月	0	6	3	9	4	17	5	23	7	16	90	3.56
1 月	0	6	3	9	3	17	5	23	7	17	90	3.58
2 月	0	6	2	9	4	18	5	22	7	17	90	3.58
3 月	0	5	2	9	2	19	5	21	7	19	89	3.64

性別・要介護度別入居者数



要介護度状況(3月)



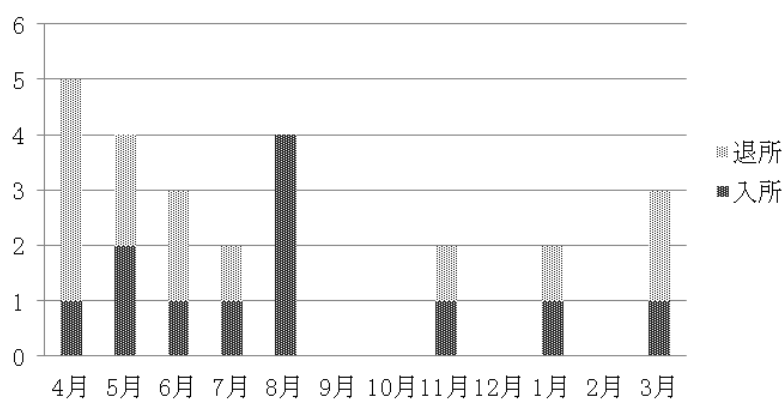
入所状況

No	日付	性別	年齢	入所前の居所
1	4月23日	女性	86	有料
2	5月1日	男性	87	居宅
3	5月15日	男性	90	居宅
4	6月2日	女性	85	居宅
5	7月2日	女性	87	老健
6	8月4日	女性	87	居宅
7	8月6日	女性	88	病院
8	8月18日	女性	89	老健
9	8月21日	女性	90	居宅
10	11月30日	女性	80	居宅
11	1月20日	女性	84	老健
12	3月14日	女性	92	居宅

退所状況

No	日付	性別	年齢	退所事由
1	4月11日	女性	93	施設内看取り
2	4月12日	女性	87	施設内看取り
3	4月15日	女性	98	施設内看取り
4	4月28日	女性	76	長期入院療養
5	5月22日	男性	70	施設内看取り
6	5月29日	男性	77	施設内看取り
7	6月3日	女性	106	施設内看取り
8	6月25日	女性	96	長期入院療養
9	7月5日	女性	86	施設内看取り
10	11月2日	女性	84	施設内看取り
11	1月3日	男性	84	病院入院後死亡
12	3月1日	男性	84	死亡
13	3月7日	男性	88	施設内看取り

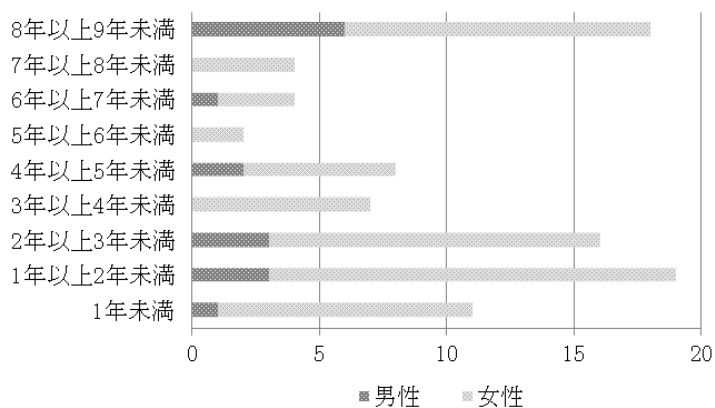
月別入退所者数



在苑期間

期間	男性	女性	合計
1年未満	1	10	11
1年以上2年未満	3	16	19
2年以上3年未満	3	13	16
3年以上4年未満	0	7	7
4年以上5年未満	2	6	8
5年以上6年未満	0	2	2
6年以上7年未満	1	3	4
7年以上8年未満	0	4	4
8年以上9年未満	6	12	18
合 計	16	73	89
平均在苑期間 (年)	5.1	3.9	4.1

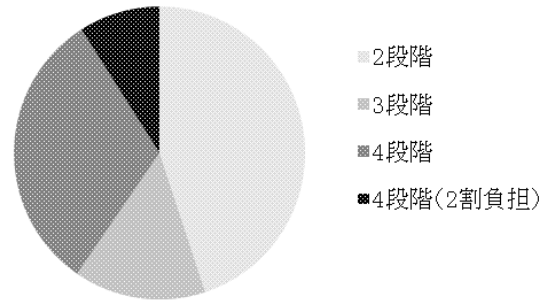
在苑期間



利用料負担階層

負担段階	人数	2割負担
1段階	0	0
2段階	40	0
3段階	13	0
4段階	28	8
合計	81	8

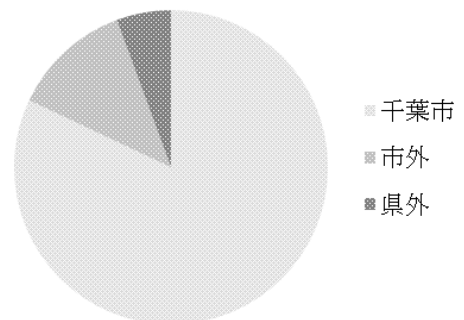
利用料負担段階



地域状況

	保険者	男	女	計
県内	千葉市中央区	11	39	50
	千葉市花見川区	0	1	1
	千葉市稲毛区	0	4	4
	千葉市若葉区	0	4	4
	千葉市緑区	1	9	10
	千葉市美浜区	0	4	4
	館山市	0	1	1
	習志野市	0	1	1
	市原市	0	4	4
	山武市	1	0	1
	大網白里市	1	1	2
	船橋市	0	1	1
	旭市	0	1	1
県外	東京都品川区	0	1	1
	東京都練馬区	1	0	1
	ふじみ野市	1	1	2
	筑西市	0	1	1
合計		16	73	89

地域状況



外泊状況

-	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	0	2	0	2	3	1	4	4	7	12	2	0	37
日数	0	3	0	8	4	1	3	4	11	20	2	0	56

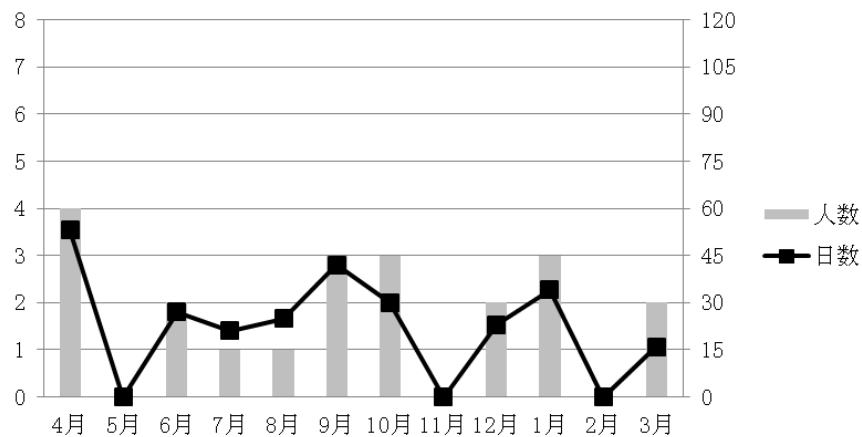
月例別入院状況

-	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
延人数	4	0	2	1	1	3	3	0	2	3	0	2	21	1.8
延日数	53	0	27	21	25	42	30	0	23	34	0	16	271	22.6

入退院状況

人数	入院日	退院日	入院日数	要介護度	性別	年齢	主な理由	病院	備考
1	3月から継続	4月28日	27	5	男性	68	脳梗塞	千葉メディカルセンター	
2	3月から継続	4月9日	8	4	女性	87	ペースメーカー OP	ジェイコー千葉病院	
3	4月11日	4月22日	10	3	女性	82	胃潰瘍	柏戸病院	
4	4月20日	4月28日	8	5	女性	76	誤嚥性肺炎	千葉メディカルセンター	退所
5	6月8日	6月25日	17	4	女性	96	不整脈・蜂窩織炎	柏戸病院	退所
6	6月20日	7月22日	31	4	女性	89	腸閉塞	三愛そが記念病院	
7	8月6日	9月17日	41	1	女性	93	左臀部骨折	おゆみ野中央病院	
8	9月8日	9月16日	7	4	女性	75	胆管結石	市立青葉病院	
9	9月11日	10月13日	31	3	女性	92	胸水・心不全	千葉メディカルセンター	
10	10月2日	10月20日	17	4	女性	75	胆管結石	市立青葉病院	
11	10月5日	10月7日	1	1	女性	85	白内障 OP	千葉メディカルセンター	
12	12月10日	1月14日	34	5	女性	86	胸水	柏戸病院	
13	12月29日	1月3日	5	4	男性	84	心不全	四街道徳洲会病院	死亡
14	1月7日	1月26日	18	3	男性	72	ペースメーカー OP	ジェイコー千葉病院	
15	3月20日	3月31日	10	5	女性	87	熱性痙攣	柏戸病院	
16	3月25日	3月31日	6	5	男性	88	肺炎	柏戸病院	
計			271	一人平均入院期間 16.9 日					

入院状況(月例)



｜ 認知症高齢者の日常生活自立度

—	人数
I	13
II a	13
II b	21
III a	16
III b	9
IV	15
M	2
合計	89

｜ オムツ使用者の実人数

—	人数
日中におけるオムツの使用者	22
夜間におけるオムツの使用者	22

(トイレ誘導している場合は含めない)

｜ 医療的ケアが必要な入居者数

—	人数
喀痰吸引 (口腔)	0
喀痰吸引 (鼻腔)	0
経管栄養 (胃ろうのみ)	4

(3) 施設相談員・施設介護支援専門員

施設相談員報告

- ・ 入所前調査により個々の個性や生活習慣を把握し、入所後には他職種連携のもと、入居者一人ひとりの生活を尊重したケアを提供するよう努めた。
- ・ 入居者を通し、ご家族との連絡・調整に努めた。
- ・ カンファレンス（担当者会議）に参加し、入居者の状態把握や家族への連絡・協力体制の整備に努めた。
- ・ ユニット毎の行事やレク（合同レク）などを通し、自ら選択することや自己決定することで、自分らしく生活できるよう支援した。
- ・ 個々の生活空間である居室の整頓や、清潔で居心地のよい環境作りに努めた。
- ・ 入居者・家族からの苦情・相談に対し相談内容の把握・調査のため、共感とともに話しを一通り聴くことにより解決に繋げ、入居者・家族への処理内容の報告説明、その後の経過観察に努めた。
- ・ 入居者の1ヶ月以上の入院が見込まれる場合は一旦退所とし、退院時にはショートステイで受け入れ可能な体制をとり、次期入所のスムーズな入所を行った。
- ・ 施設での看取り介護を希望された本人・家族に対し「淑徳共生苑看取り指針」を提示し他職種同席の元、説明・同意書を取るように日時を設定し開催した。
- ・ 苑内外研修会や勉強会を通し、専門的知識や技術のレベルアップと介護者としての資質向上に努めた。

施設介護支援専門員報告

- ・ 入居者が、施設で安心して穏やかに過ごせるよう各職種、家族との連携に努め、一人ひとりを大切にしたケアマネジメントの充実を目標に取り組んだ。
- ・ 介護保険の認定調査を保険者からの依頼により、ご家族の立会のもと 34 件実施。
- ・ 外部の認定調査員による認定調査の日時の調整を行い、立会いを行った。
- ・ 負担限度額認定更新の案内を行い、千葉市在住の方について代行申請を行った。
- ・ 介護保険更新の時期には連絡をし、千葉市在住の方について代行申請を行った。
- ・ ケアプランを 6 ヶ月（基本）ごとに定期的に見直しをした。また入院等で状況が変わったとき随時で、見直しを行った。
- ・ カンファレンス（担当者会議）を入所時、ケアプラン見直し時、状態が変わった時等に行った。必要に応じてご家族に立会いをお願いする、他職種に同席してもらうなど適切な連携に努めた。
- ・ 毎週金曜日に行われる法話会や隔週行われる書道クラブや合同レクやユニット企画のレクリエーションなどに参加し、入居者との時間を大切にしてきた。またご家族とも積極的にやり取りをし、関わりを多くもてるように努めた。
- ・ 状態の悪化に伴い積極的な医療を希望されずに施設での看取りを希望された方は、随時ご家族参加されてのカンファレンス（担当者会議）を開催し、本人、家族の意向の確認を行い、ケアプランの作成をした。また、支援経過 担当者会議の議事録の作成をした。
- ・ 苑内外の研修に参加し、専門的知識の向上に努めた。

（４）施設看護

- ・ 診療所、および各職種との連携により、入院者・入院日数の減少に努めることが出来た。日頃の予防や早期治療に入ることによって、重症になることが減少し、早期回復が出来るようになったためと考えられる。
- ・ 定期健康診断の実施により、健康状態を把握し、経過観察及び随時必要な検査を実施し健康管理に努めた。
- ・ 体重測定（毎月）の実施結果の評価をし栄養士・ユニットスタッフとの連携により栄養管理に努めた。
- ・ 胃瘻・バルン挿入者の感染予防や、診療所での定期的な交換の日程調整及び医師の指示のもと診察介助などを行った。
- ・ 24 時間（夜間オンコール）における急変者の対応について、ユニットとの連携や日常の健康状態の把握により、診療所医師の指示のもと、病院搬送など適切かつ迅速な対応に努めた。
- ・ 個別性の看護として、吸引が必要な方に対し介護への指導・講習を実施し、必要な処置の評価などを行った。

- ・ 薬の管理も含め、薬剤師との連携をとり、薬に対しての勉強会に参加し、薬についての疑問など確認、知識の習得に努めた。

淑徳おゆみ診療所受診状況

受診内容	受診人数 (延べ)
整形(打撲・骨折・転倒) 骨粗鬆症関係	79 人
肺疾患関係・熱症状	86 人
尿・バルン関係(交換・抜去)	54 人
糖尿病・消火器・栄養関係	33 人
循環器関係	11 人
頭痛・脳疾患関係	13 人
処置・皮膚疾患	99 人
胃瘻関係	7 人
合計	421 人

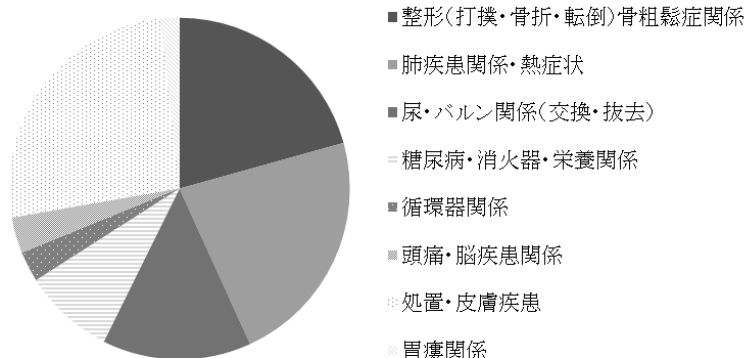
他医療機関受診状況

診療科	受診人数 (延べ)
内科	58 人
神経内科・精神科	23 人
眼科	14 人
癌関係	14 人
皮膚科	16 人
泌尿器科	1 人
耳鼻科	20 人
整形外科	19 人
婦人科	1 人
合計	116 人

訪問歯科受診状況

月	診察回数	受診人数 (延べ)
4 月	9 回	57 人
5 月	8 回	45 人
6 月	9 回	54 人
7 月	9 回	54 人
8 月	6 回	37 人
9 月	8 回	49 人
10 月	9 回	54 人
11 月	7 回	45 人
12 月	8 回	46 人
1 月	8 回	52 人
2 月	8 回	51 人
3 月	9 回	56 人
合計	98 回	600 人

淑徳おゆみ診療所 受診内容



機能訓練計画について

- ・ 生活の中で、体と精神面を支える生活リハビリと、年間の活動とを合わせて実施してきた。
- ・ 医療的ケアとして、各ユニットにて下肢のマッサージを実施（エアマッサージャー併用） 対象人数：11 名 、実施回数：56 回
- ・ テレビ体操を見ながらの上下肢運動、個別に手引き歩行、ユニット内歩行等。
- ・ 苑内集団活動として、他職種との協働・連携にて実施。
ミュージックケア：23 回実施、リハビリレク：11 回実施、合同レク：48 回実施。

その他、ボランティアによるレク活動、ハンドマッサージなど。

- ・ 疾患による臥床時間の長期化での筋力低下を予防。

口腔内の衛生（訪問歯科との利用・研修参加）

栄養管理（栄養士と連携・食事形態見直し）

疾患の早期発見・治療

（５）各ユニット

2 階「古里・里山」（里山は短期入所）

職員一人一人が入居者と向き合う姿勢をもち、入居者に寄り添ったケアが行えた。他職種との連携も密にとり、入居者の健康面でも早期発見と早期対処に努めた。来年度も引き続き、他職種との連携を図り入居者の生活を支えケアに繋げていきたい。今年度はユニットレクの実施が少なかった為、来年度は入居者・利用者に満足していただける様に創意工夫し、QOLの向上・リフレッシュにつなげられるようなユニットレク企画をしていきたい。

｜年間行事（全体行事は P9～に記載）

ユニット	月	行事	内容
古里・里山	4 月	お花見	ドライブをしながら大巖寺へ行く
	5 月	鯉のぼりツアー、母の日	女性入居者へ花のプレゼント、鯉のぼりを見に行
	7 月	七夕	笹を飾り、短冊に願い事を書く
	8 月	納涼祭、花火大会	生実町納涼花火を鑑賞
	9 月	敬老会	長寿の方を祝う
	11 月	焼き芋	
	12 月	クリスマス会、餅つき	入居者とクリスマスの飾りを飾る、餅つき大会に
	1 月	初詣	合同レクで大巖寺へ初詣に行く
	2 月	節分	豆まき
	3 月	外出レク	イチゴ狩り



父の日レク



千葉公園 外出レク

2 階「大海・河川」

今年度は入居者が安心してその人らしく生活ができるよう支援することを目標に取り組んできた。入居者の介護度が重度化していく中で心身の変化に応じたケアについて方向性を共有しケアを考え、取り組んできた。新入職員の指導・情報の共有にも重点おいた。ユニット単独でのレクリエーションが少なく、日々のケアに追われなかなか実施に至らなかった。来年度は色々なレクリエーションを考え実施していきたい。

ユニット	月	行事	内容
大海・河川	4 月	お花見	合同レクで大巖寺に行く
	5 月	母の日、鯉のぼり	女性入居者へ花のプレゼント、鯉のぼりを見に行く。
	6 月	父の日レク 外出	男性入居者に対し、サイフォンにて居酒屋千葉公園に蓮を見に行く。
	7 月	七夕・買い物	短冊に願いを書く。ショッピングモールで買い物
	8 月	納涼祭、花火、かき氷	苑内行事、4 階にて生実町花火大会鑑賞、かき氷
	10 月	買い物	近所のショッピングモールで買い物
	11 月	焼き芋	おやつに焼きたての焼き芋を食べる。
	12 月	餅つき・柚子湯	餅つき大会参加、入浴時柚子を浮かべる。
	1 月	初詣	合同レクで大巖寺へ初詣に出掛ける。
	2 月	鍋レク	昼食によせ鍋作りを行う。
	3 月	外出レク	合同レクでイチゴ狩り



10 月 外食レク



2 月 鍋レク

3 階「秀峰・野鳥」

入居者一人一人がその人らしい生活を送って頂けるようなケアを目指し、環境の整備を行った。定期的にユニット会議を行い、スタッフ間の話し合いによりケアの向上に努めた。来年度は苑内外の研修に参加し専門職としてケアの向上につなげていきたい。苑内レク、外出レクも季節に合わせたものを行い入居者の方に大変好評であった。看取りケアに関しても、細かな取り組みや話し合いを重ね、看取り期から看取り後のカンファレンスまでを含め、家族とも関係を密にとり最期までの時を大切に過ごして頂けるよう、チームでのケアを目指せた。

ユニット	月	ユニット内行事	外出
秀峰・野鳥	4月	桜もちづくり	お花見（大巖寺）
	5月	母の日・菖蒲湯	鯉のぼり見学ツアー
	6月	父の日	花の美術館
	7月	七夕	お買い物・外食
	8月	かき氷づくり	野球観戦
	9月	おはぎづくり	誕生日のお祝い
	10月	運動会	外食
	11月	鍋パーティ	お買い物・外食
	12月	クリスマス会・餅つき	苑内行事
	1月	正月行事	初詣（千葉神社、大巖寺）
	2月	節分・スイーツパーティー	出前をとりサイフォンで食べる
	3月	雛祭り・ケーキ作り	イチゴ狩り・買い物（外食）



お好み焼き作り



鍋レク

3階「名山・野原」

入居者がその人らしく生活できるように、環境の整備に取り組み、スタッフ間で話し合い情報共有を行うことで、より良いケアの提供に努めた。次年度も「入居者のその人らしさ」を最大限引き出せるように、入居者ご自身やご家族からの情報を活かし、しっかりと取り組んでいきたい。そのためにも、スタッフそれぞれのスキルアップはもちろん、チームケアとしてもさらなる向上を目指していきたい。

ユニット	月	ユニット内行事	内容
名山・野原	4月	花見	桜を見にお散歩する
	5月	母の日・昼食レク（出前）	母の日を祝う・ガストから出前をとる
	6月	父の日・昼食レク（出前）	父の日を祝う・大京から出前をとる
	7月	七夕	短冊に願い事を書き、笹に飾る
	8月	おやつレク	かき氷作り
	9月	外出レク 昼食レク（出前）	買い物（ユニモへ出かける） 大京から出前をとる
	10月	おやつレク 昼食レク（外出）	さつまいもおやき作り お寿司を食べに行く
	11月	カラオケ	みんなで歌声披露
	12月	昼食レク（出前）	おそばの出前をとる
	1月	正月行事	初詣（苑内神社・大巖寺）

2 月	昼食レク おやつレク	寄せ鍋を囲んで食べる ケーキ作り
3 月	ひなまつり	苑内の雛飾りを見に行く



5 月 母の日



7 月 七夕

4 階「星空・大空」

入居者一人ひとりとの関わり合いを大切にし、入居者を中心としたケアを行えるよう、またレクリエーションや日常の関わりを通して皆が笑顔で過ごせる時間を多く持てるよう努めた。今年度も入居者の関わりを大切にし、定期的にレクリエーション行事を企画して入居者が楽しく過ごせる環境を提供していきたい。看取りケアも今までの経験を通して、各職種との情報の共有、家族との連携に努め、本人が穏やかに過ごせる環境を提供していく。

ユニット	月	ユニット内行事	外出
星空・大空	4 月	花見ドライブ	桜を見にドライブへ行く
	7 月	納涼祭	入居者の交流を図る
	8 月	花火	生実町納涼花火を鑑賞
	9 月	敬老会	苑内で行う
	10 月	運動会	苑内で行う
	12 月	お誕生日会	100 歳のお誕生日お祝い
	1 月	初詣 鍋レク	苑内で行う 鍋を囲んで食べて頂く
	3 月	イチゴ狩り	外出し、イチゴ狩り



お正月



お誕生日会

7-2. 短期入所者生活介護事業所（ショートステイ）

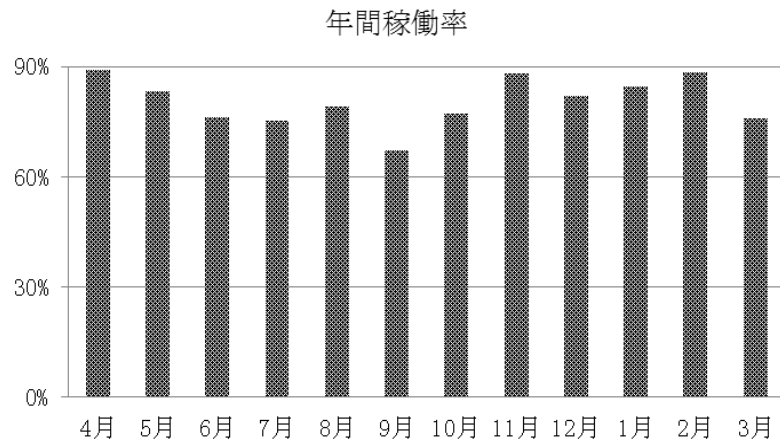
今年度も昨年度から取り組んでいた、利用者が日々穏やかに生活できる環境作りを継続的に行った。居室内環境の見直し、生活の場所としてのリビングのしつらいの設定（テーブル・ソファ・テレビなどの配置の仕方）を検討し、利用者が集まり語らいながら過ごせる居場所作りに取り組み、定期的にご利用される利用者の方々は徐々に施設内の環境にも慣れてきたようであった。また利用者一人ひとりに職員が関わることができる時間は限られているため、居室内に籠もりがちな方も極力日中はリビングで過ごしていただけるよう声かけし、職員が仲介役となりレクリエーションや体操を通し交流を図ることで全体的に見守りを行えるよう工夫した。この2点の取り組みを継続したことにより、しばらくすると利用者同士が部屋を行き来し、声をかけあいリビングで過ごす時間が増え、利用者同士の関係の構築もみられ、徐々に余暇活動を楽しむ姿が増えてきた。

今年度は、前年度に比べ夏から秋にかけて稼働率が低くなったことにより、全体の稼働率を落としてしまった。次年度は特養や他事業所ケアマネジャーとのさらなる連携を図り、急な入院、長期入所にも即座に対応できるようバランスを図りながらスケジュールを立てていきたい。

また、デイサービスとの利用者情報の共有を図り、食事・排泄・入浴などの基本的な部分で介助に変化がないように努め、次年度も利用者が穏やかに生活できる環境を考え、安全に効率よく運営できるよう取り組んでいきたい。

（1）年間稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4月	2	0	46	7	120	30	62	267	89.0%
5月	0	0	12	15	120	33	76	258	83.2%
6月	2	0	19	12	123	20	53	229	76.3%
7月	0	0	25	21	106	17	64	233	75.2%
8月	0	0	11	20	103	19	75	245	79.0%
9月	0	0	31	19	94	21	37	202	67.3%
10月	0	0	22	27	119	24	27	239	77.1%
11月	0	0	27	47	101	47	42	264	88.0%
12月	2	0	15	42	83	69	43	254	81.9%
1月	0	0	12	58	71	77	44	262	84.5%
2月	0	0	20	51	62	87	36	256	88.3%
3月	0	0	16	59	65	56	39	235	75.8%
月平均									80.5%



(2) 利用者状況 (平成 28 年 3 月 31 日時点)

利用者年齢・性別構成

年齢	男性	女性	合計
60～69 歳	2	0	2
70～79 歳	1	5	6
80～89 歳	4	11	15
90～99 歳	3	6	9
100 歳～	0	0	0
合計	10	22	32

利用者地域 (保険者)

地域	男性	女性	合計
中央区	8	16	24
緑区	0	1	1
若葉区	1	2	3
美浜区	1	0	1
稲毛区	0	2	2
その他	0	1	1
合計	10	22	32

性別・要介護度別利用者数

介護度	男性	女性	合計
要支援 1	0	1	0
要支援 2	0	0	0
要介護 1	1	5	3
要介護 2	2	5	4
要介護 3	4	4	8
要介護 4	2	3	2
要介護 5	1	4	7
合計	10	22	32

契約状況

月	新規	中止	中止理由	増減	継続
4 月	3	0		3	42
5 月	2	1	長期入所	1	43
6 月	0	1	長期入所	-1	42
7 月	2	1	永眠	1	43
8 月	0	2	長期入所、永眠	-2	41
9 月	3	4	長期入所、他施設利用、永眠	-1	40
10 月	2	0		2	42
11 月	1	1	長期入所	0	42
12 月	2	0		2	44
1 月	1	0		1	45
2 月	0	0		0	45
3 月	0	2	長期入所、長期入院	-2	43

7-3. 通所介護・認知症対応型通所介護事業所（デイサービス）

平成 27 年度は環境の見直しから始まった。今までリハビリスペースとして使用していた場所だが、日当たりも良く昼食後は利用者が集いくつろいでいることが多かったため、静養室であり活用できていなかった畳台を移動し、より広く大勢でくつろげる場所を整えた。やはり昔から畳での生活に慣れ親しんでいる方がほとんどなので、足を伸ばしたり寝転がったりと各々自由にくつろぎ、または膝を並べて語らう時間が大幅に増えた。女性が 8 割を占める利用者同士のコミュニケーションもより深まり、それぞれの地元の話や身内の話題で盛り上がる様子を見ていると、日に日にお互いの距離が近づき、本当にここに来ることを楽しみにされているのだなぁと実感する。放っておいたらいつまでも話しているのだろうなぁ…と、疲れなにか心配になる程だが、一人暮らしであったり、自宅ではあまり話す相手も（時間も）ない状況を見ると、笑いが絶えない表情を見ているだけでここでの数時間がとても刺激になり、在宅での生活を継続していく上で活力源となり大事な時間を過ごしているのだと理解できる。加速していく相互のエンパワメントを目の当たりにし、改めて環境整備の大切さを自覚した一年であった。今後も利用される方の状況に合わせた居場所づくりを考えていきたい。

また、今年度は認知症の周辺症状に悩まされるご家族の相談が多い年でもあった。そのほとんどは意思疎通が困難になり、徘徊や昼夜逆転・暴力行為などで同居している家族が疲弊しているケースが多く、サービスを利用できなければ生活が破綻しかねない状況になりつつある家庭もあった。インテークの段階ではなかなか厳しい生活状況が聞かれ、専門職としても「大変な状況だなぁ…」と、ご家族の心労が身に染みて伝わってくる。やはり一人ひとり個別に対応すべきポイントは違って当然で、どう受け入れようか頭を悩ませる。職員と他利用者が入り交じり自宅と違う環境で戸惑いや混乱のある中、安全に配慮しながら一定の時間を過ごすことは多少なりとも負担を伴うものであろう。利用当初はどのような言動があるのか様子を窺いながらの関わりがセオリーだが、難しいと思われるケースほど職員一人ひとりの臨機応変な対応力の高さにいつも驚かされる。まさに共生苑の専門職としての力量とケアレベルの高さを目の当たりにする場面であり、穏やかに過ごす姿を見ていると利用者あるいはその家族の生活を支えているサービスであることを実感する。

新年度は開設から 10 年という節目の年でもあるので、外部の研修などにも積極的に参加し、より良いサービスが提供できるよう基盤固めを行っていきたい。

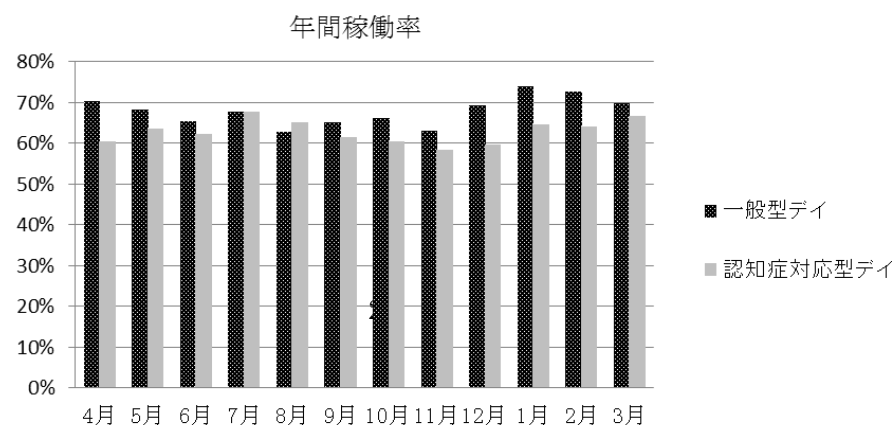
(1) 年間稼働率

| 一般型デイサービス稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4 月	8	25	160	154	72	17	21	457	70.30%
5 月	5	17	153	159	82	16	12	444	68.30%
6 月	8	18	156	142	79	18	4	425	65.40%
7 月	5	16	187	136	73	15	8	440	67.70%
8 月	5	10	180	137	62	14	0	408	62.80%
9 月	8	17	192	121	68	17	0	423	65.10%
10 月	11	18	211	128	61	18	0	447	66.20%
11 月	10	17	166	130	54	17	0	394	63.00%
12 月	10	21	163	158	60	22	0	434	69.40%
1 月	6	24	155	166	69	24	0	444	74.00%
2 月	4	24	143	205	55	24	0	455	72.80%
3 月	5	25	158	199	57	27	0	471	69.80%
月平均									67.90%

| 認知症対応型デイサービス稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4 月	0	0	0	1	21	33	102	157	60.40%
5 月	0	0	0	6	5	32	122	165	63.50%
6 月	0	0	0	10	0	32	120	162	62.30%
7 月	0	0	0	13	0	34	129	176	67.70%
8 月	0	0	0	12	0	34	123	169	65.00%
9 月	0	0	0	17	0	37	106	160	61.50%
10 月	0	0	0	17	0	38	108	163	60.40%
11 月	0	0	0	27	0	22	97	146	58.40%
12 月	0	0	0	32	0	29	88	149	59.60%
1 月	0	0	0	18	26	29	82	155	64.60%
2 月	0	0	5	10	22	30	93	160	64.00%
3 月	0	0	14	25	24	32	85	180	66.70%
月平均									62.84%



(2) 利用者状況（平成28年3月31日時点）

契約状況

月	一般型デイ					認知症対応型デイ				
	新規	中止	中止理由	増減	継続	新規	中止	中止理由	増減	継続
4月	1	2	自己都合1 入院1	-1	50	1	0		1	14
5月	0	1	入院1	-1	49	0	1	入院1	-1	13
6月	1	4	入院3 体調不良1	-3	46	0	0		0	13
7月	3	0		3	49	0	0		0	13
8月	1	4	入所1 施設入所3	-3	46	2	0		2	15
9月	2	3	入院1 施設入所2	-1	45	0	1	入院1	-1	14
10月	2	1	入院1	1	46	1	1	死亡1	0	14
11月	1	1	入院1	0	46	0	0		0	14
12月	3	1	入院1	2	48	0	0		0	14
1月	2	1	死亡1	1	49	2	1	死亡1	1	15
2月	0	1	施設入所1	-1	48	1	1	入院1	0	15
3月	1	4	入院1 施設入所3	-3	45	0	1	死亡1	-1	14

要介護度別利用者

要介護度	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
要支援1	1	0	0	0
要支援2	1	3	0	0
要介護1	1	15	1	0
要介護2	3	14	1	0
要介護3	4	5	0	2
要介護4	1	2	2	1
要介護5	0	0	2	5
合計	11	39	6	8

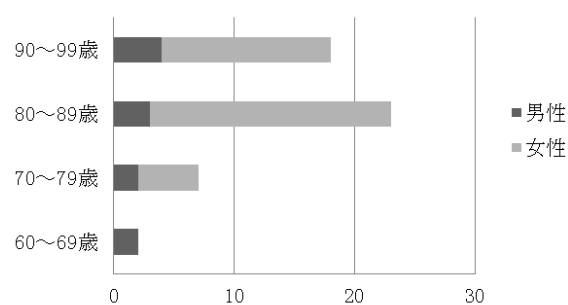
利用者地域（保険者）

地域	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
中央区	10	35	6	5
緑区	0	2	0	2
若葉区	1	2	0	1
その他	0	0	0	0
合計	11	39	6	8

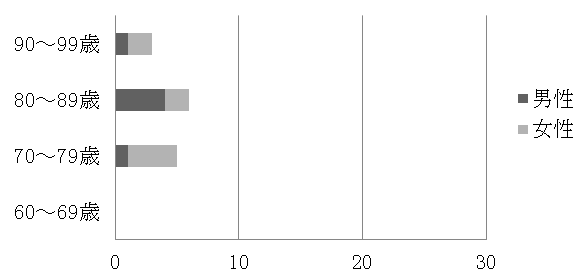
利用者年齢・性別構成

年齢	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
60～69歳	2	0	0	0
70～79歳	2	5	1	4
80～89歳	3	20	4	2
90～99歳	4	14	1	2
100歳～	0	0	0	0
合計	11	39	6	8

一般型 デイ利用者 年齢構成



認知症対応型 デイ利用者 年齢構成



(3) 年間レクリエーション

月	行事
4月	お花見ドライブ
5月	菖蒲湯、母の日レク、新茶の会
6月	南米音楽会、父の日バイキング
7月	シルバームーン（カラオケ）、おやつレク（あんみつ）
8月	バーベキュー、かき氷、角栄舞踊団慰問
9月	敬老会
10月	デイ運動会、おやつ作り（たこ焼き）
11月	文化祭、鍋パーティ、シルバームーン（カラオケ）
12月	おやつ作り（ケーキ）、クリスマス会、焼き芋
1月	お屠蘇、新年会、鍋パーティ、
2月	節分・豆まき、共生苑カフェ
3月	ひな祭りバイキング、シルバームーン（カラオケ）

回数

月	おやつ 昼食	ミ ュ ー ジ ッ ク ケ ア リ ハ ビ リ レ ク	書 道	生 花	苑 内 レ ク	外 出 レ ク	合 計
4月	0	3	2	1	0	4	10
5月	2	2	2	1	6	0	13
6月	1	3	2	1	1	0	8
7月	0	3	1	1	1	0	6
8月	7	3	2	0	0	0	12
9月	0	3	2	1	2	0	8
10月	2	2	1	1	1	0	7
11月	2	3	1	1	7	0	14
12月	2	3	1	1	1	0	8
1月	5	3	1	1	0	0	10
2月	2	1	0	1	0	0	4
3月	1	3	1	1	1	3	10
合計	24	32	16	11	20	7	110



七夕撮影会



運動会



文化祭



敬老会

7-4. 居宅介護支援事業所

平成 27 年度は 4 月以降、常勤 2 名体制で事業を行った。

今年度もそれぞれに困難な事情をお持ちで在宅生活をされている方の相談をお受けした。生活保護の方、独居生活で認知症症状のある方など困難なケースを担当することが多い状況が続いている。

居宅介護支援事業所だけで利用者を支えるのではなく、行政や地域包括センターを始め地域全体で相互に連携を取り、支援を行っていく事がさらに必要不可欠な状況となっている。

(1) 実績

月	職員数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4 月	3	3	6	23	17	12	7	9	77
5 月	2	4	6	23	17	12	6	7	75
6 月	2	4	6	21	17	12	6	9	75
7 月	2	4	6	22	20	11	5	9	77
8 月	2	3	7	23	17	12	5	9	76
9 月	2	4	7	24	16	14	4	8	77
10 月	2	4	7	23	17	12	5	8	76
11 月	2	4	6	24	16	12	4	8	74
12 月	2	4	6	24	15	11	5	7	72
1 月	2	4	6	25	12	12	6	7	72
2 月	2	4	6	25	10	13	6	7	71
3 月	2	4	5	25	9	14	7	8	72
月平均									74.5 件

(2) 登録者状況（平成 28 年 3 月 31 日時点）

登録者数

性別	予防給付	介護給付	合計
男性	2	18	20
女性	7	48	55
合計	9	66	75

登録者世帯状況

世帯	人数
独居	15
夫婦	23
子ども世帯同居	31
他親族同居	6
合計	75

7-5. 淑徳おゆみ診療所

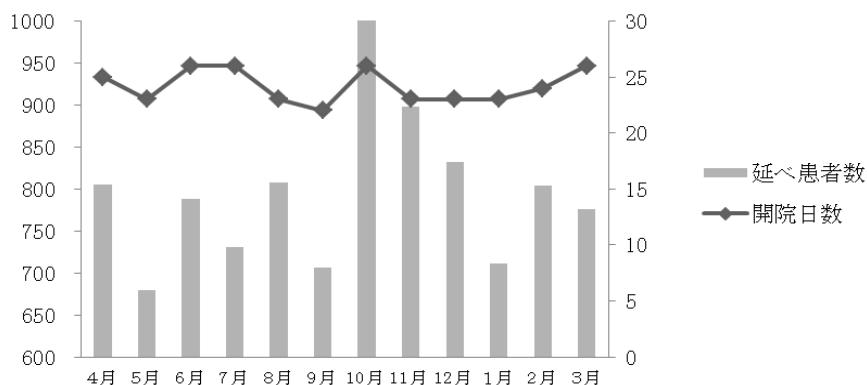
平成 27 年度の新患登録数は 354 名であった。入居者ご家族や近隣の方々のご利用だけでなく、泌尿器科を求めて遠方より来て下さる方も多くなっている。

なお、小児用薬剤処方の要望が引き続いてあったため、現在は散剤で対応している。

実績報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開院日数	25	23	26	26	23	22	26	23	23	23	24	26	290
延べ患者数	805	680	788	731	808	707	1043	898	832	711	804	776	9,583
内健診 (入居者含む)	91	15	105	25	49	29	332	154	105	36	31	12	984
内 入居者													
診察	75	63	39	102	100	66	72	98	83	80	64	60	902
処方	273	260	296	265	337	296	291	296	279	276	335	292	3,496

月別 延べ患者数



主な出来事

4月	入居者定期健康診断
6月	職員健康診断
7月	大巖寺幼稚園職員健康診断
8月	慈光保育園職員健康診断
10月～12月	インフルエンザ予防接種
12月	職員健康診断（夜勤者）
4月～翌年3月	肺炎球菌予防接種（定期接種・市独自事業）
5月～翌年2月	千葉県特定健診・がん検診
他	淑徳大学実習前健診・慈光保育園特定健診

7-6. 千葉市あんしんケアセンター松ケ丘

平成 27 年度は『地域包括ケアシステムの構築』に向けて柱となる多職種協働による連携体制作りに取り組んだ。

様々な課題を抱えた地域住民の相談に対応し、医療、介護、住まい及び生活支援サービスを継続して提供できる地域のネットワークづくりに重点をおき、新たな取り組みとして民生委員と協働し地域住民による自主活動の立ち上げに携わった。

Ⅰ 総合相談支援業務・権利擁護業務について

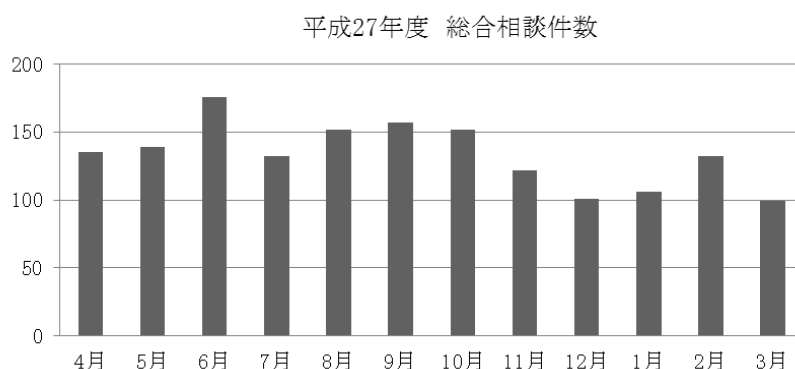
相談経路として民生委員、親族からの相談、医療機関からの紹介が多くあった。直接相談に来られる方も多くいた。

相談内容としては、昨年同様、介護保険制度・サービスに関することが特に多くあり、その中でも申請代行や介護相談、他の福祉サービスについての相談が多数あった。認知症や精神疾患に関する相談は増加している。介護者が精神疾患のあるケース、生活保護受給者からの相談、経済的困窮者、劣悪な居住環境で生活されている方など、複合的な問題に対する支援が増加した。

虐待に関する新規相談は 12 件、成年後見制度等の相談は 3 件。総合相談の内容や状況について、3 職種会議やケース会議を通して、センター内の情報共有を図り、高齢障害支援課とも連携をとりながら対応した。定期的に担当ケアマネジャーと連携を取り、状況把握することに努めたり、相談しやすい環境づくりを心掛けたりした。施設入所に関する相談もあり、介護保険施設、特定施設、サービス付高齢者住宅等の情報を収集、整理し、数多く提供出来るように努めた。

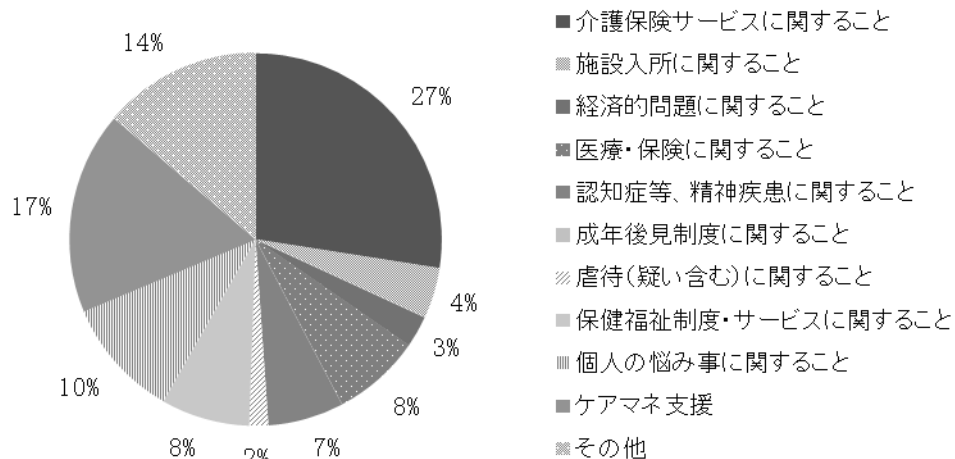
相談受付後は相談受付票に記録し、必要に応じ訪問、実態把握をした。台帳を基に 1 か月に 1 回 3 職種で会議を行い計画的に継続支援した。

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	135	139	176	132	152	157	152	122	101	106	132	99	1,603



相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険サービスに関すること	50	53	106	52	61	59	57	49	43	39	38	13	620
施設入所に関すること	8	10	16	8	7	12	7	8	4	4	12	9	105
経済的問題に関すること	5	7	13	25	1	3	5	6	8	3	11	3	90
医療・保険に関すること	14	9	17	9	7	13	12	16	13	34	15	10	169
認知症等、精神疾患に関すること	12	13	21	18	10	16	14	14	7	5	11	12	153
成年後見制度に関すること	0	3	1	0	5	1	0	0	4	2	1	1	18
虐待（疑い含む）に関すること	3	2	0	0	18	10	1	3	1	1	15	0	54
保健福祉制度・サービスに関すること	14	20	18	3	19	17	20	6	30	9	17	10	183
個人の悩み事に関すること	19	10	20	12	11	14	16	26	12	7	12	20	179
ケアマネ支援	32	8	40	14	11	4	34	11	18	15	27	4	218
その他	25	28	27	10	8	28	42	11	11	12	19	30	251
合計	182	163	279	151	158	177	208	150	151	131	178	112	2,040

H27年度 相談内容



介護予防ケアマネジメント業務

高齢者が自身のケアプランを目標に向かって理解し実施していける様に目標を設定し、適切に評価できるように努めた。

指定介護予防支援事業

契約数	27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総数		253	256	258	261	262	279	279	288	286	287	278	286	3,273
委託		164	165	168	167	174	185	188	198	199	200	189	198	2,195
松ヶ丘		89	91	90	94	88	94	91	90	87	87	89	88	1,078

介護予防普及啓発事業および地域介護予防活動支援事業について

地域の特性や社会資源を把握し住民主体の通いの場や自主的活動支援に取り組んだ。自らのセルフケアの推進、閉じこもり防止、自主活動グループのリーダー育成に取り組んだ。



クラフト教室・ペン立て



クラフト教室・作業風景



クラフト教室・タオルかけ

介護予防普及啓発事業

回数及び参加人数	講演会・教室 ・ミニ講座等	相談会等	イベント等	その他	合計
開催回数（回）	18	0	11	7	36
参加延人数（人）	324	0	220	214	758

地域介護予防活動支援事業

回数及び参加人数	地域活動組織への支援・ 協力等	社会活動を通じた介護予防 に資する地域活動の実施	合計
開催回数（回）	41	2	43
参加延人数（人）	1,136	48	1,184



星久喜町南部町会カフェ・健康体操



星久喜町南部町会カフェ・ミニ講座

包括的・継続的ケアマネジメント業務について

平成 27 年度、介護保険制度改正・報酬改定に伴い、中央区内の介護支援専門員への情報提供、資質の向上に努めた。

地域のケアマネジャーへの個別支援、支援困難事例等にあたり随時カンファレンス開催。圏域内事例検討会、圏域内 12 居宅介護支援事業所に呼びかけセンター会議室にて年 3 回開催。

5センター合同で中央区全体での医療と介護の連携についての研修会を年3回開催。中央区南部ブロックCM勉強会・交流会を年2回、2センター合同にて開催。平成28年1月、「淑徳共生苑・おゆみホール」を会場として「高齢者虐待防止研修」を2センターの圏域内居宅介護支援事業所のケアマネジャー、通所事業所や短期入所事業所の生活相談員、訪問介護事業所のサービス提供責任者ほか計44名参加にて開催。中央区主任ケアマネ連絡会（年6回）開催。



高齢者虐待防止研修

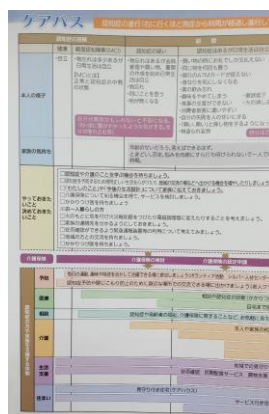
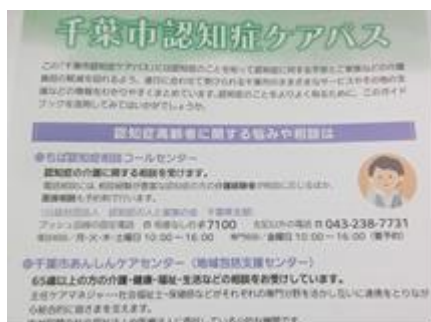
Ⅰ 認知症サポーター養成講座

「認知症になっても安心して暮らせる町」を目指し認知症サポーター養成講座の開催に積極的に取り組んだ。

※（）内は前年度

開催月	開催場所	延べ参加人数
(平成27年1月)	(中央いきいきプラザ)	(65)
平成28年1月	TeaHOUSE わかば	7
平成28年1月	淑徳大学	106
平成28年3月	TeaHOUSE わかば	8
合計		121 (65)

(平成27.3.7 認知症ケアパスの作成や市民向け研修会を開催)



7-7. 栄養

平成 27 年度は、他職種による会議・カンファレンス等をもとに生活全体を通し、栄養ケアマネジメントを実施し、栄養状態の改善・維持を目指した。

体調不良者や嚥下不良者への対応は、ご家族や多職種と情報を共有し、ご本人にとってより良いケアに取り組んでいる。

｜ 栄養管理状況

形態等	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (mg)	塩分相当量 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	VA (μ m)	VC (gm)
常食 (米飯)	1,650	65.0	44.0	248.0	8.3	650	7.0	700	100
常食 (全粉)	1,500	59.3	40.0	225.4	8.3	650	7.0	700	100
食事摂取基準	1,650	63.0	45.0	248.0	8.3	650	7.0	700	100

食事摂取基準は日本人の食事摂取基準（2015 年版）をもとに、淑徳共生苑特別養護老人ホームに入所されている利用者の年齢・性別・身体レベルから算定。

｜ 栄養摂取状況

月	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (mg)	塩分相当量 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	VA (μ m)	VC (gm)
4 月	1,625	61.1	42.8	241.1	8.4	572	7.4	750	109
5 月	1,670	61.3	44.1	250.1	8.4	531	6.5	690	98
6 月	1,648	60.5	44.8	243.1	8.6	557	7.1	746	104
7 月	1,639	59.6	43.7	244.8	8.6	567	7	770	104
8 月	1,611	57.9	43.7	238.9	8.5	518	6.8	637	92
9 月	1,624	59.9	43.3	241.7	8.7	547	7.2	717	97
10 月	1,622	59.2	44	239.8	8.3	547	7.2	665	98
11 月	1,640	60	45.3	223.6	8.1	541	7.3	704	100
12 月	1,618	57.6	44.7	239.1	8.2	511	6.6	786	97
1 月	1,650	58.1	46.7	241.5	8.6	532	6.6	705	98
2 月	1,639	58.4	45.6	241.3	8.4	560	7.2	728	99
3 月	1,655	59.1	46.9	241.1	8.3	547	7.5	720	109
合計	19,641	712.7	535.6	2,886.1	101.1	6,530	84.4	8,618	1,205
平均	1,637	59.4	44.6	240.5	8.4	544	7.0	718	100

禁食一覧

主食類		魚・肉類		野菜・果物類		その他	
・麺	12	・魚	1	・なす	2	・温泉卵	2
・そば	3	・うなぎ	2	・青菜	1	・とろろ	3
・ラーメン	1	・鯖	2	・春菊・山菜・	1	・ヨーグルト	1
・赤飯	2	・ほっけメルルーサ	1	レンコン・竹		・きのこ	1
・カレー	6	・刺身	3	の子		・ぎょうざ	1
		・肉	4	・おくら	2	・りんご	1
		・鶏肉	1	・根菜	1		
		・納豆	13	・揚げ物	1		

行事献立実施状況

月	日	献立内容
毎月	25 日	お誕生ケーキ
4 月	9 日	セレクト食（アジフライ・肉じゃが）
	15 日	セレクト食（しらす丼・菜の花とあさりの卵とじ丼）
	24 日	降誕会行事食（竹の子ごはん・魚の木の芽焼き・茶碗蒸し）
5 月	11 日	セレクト食（そら豆とえびのかき揚げ・ハンバーグ）
	14 日	母の日行事食（五目寿司・天ぷら・若竹煮）
	22 日	セレクト食（まぐろカツ丼・麻婆茄子丼）
6 月	15 日	千葉県民の日（わかめ御飯・鰯のさんが焼き）
	16 日	セレクト食（かき揚げ丼・鰯のスタミナ丼）
	18 日	父の日行事食（枝豆御飯・焼き鶏風・ぬた和え）
	25 日	セレクト食（味噌カツ・さばの梅煮）
7 月	7 日	七夕そうめん
	10 日	盂蘭盆会行事食（稲荷ずし・カレイの西京焼き・茶碗蒸し）
	14 日	セレクト食（ゴーヤチャンプル・フライ 2 種）
	24 日	セレクト食（うなぎ丼・豚丼）
	2 日	納涼祭（焼きそば・焼き鳥・フルーツゼリー）
9 月	13 日	敬老会行事食（赤飯・天ぷら盛り合わせ・かつおのたたき）
	29 日	セレクト食（ハヤシライス・天津丼）
10 月	16 日	セレクト食（鮭のクリームソース・とんかつ）
	28 日	セレクト食（豆腐の肉みそあん・鯖の南蛮漬け）
	31 日	ハロウィン催事食（パンプキンスープ・ハンバーグ）
12 月	4 日	成道会行事食（まぐろの刺身・天ぷら盛り合わせ・茶碗蒸し）
	24 日	クリスマスメニュー（エビピラフ・フライ 2 種・ケーキ）
	25 日	もちつき
	31 日	年越しそば
1 月	1 日	おせち（赤飯・おせち料理盛り合わせ）
	7 日	七草粥
	12 日	セレクト食（豚汁・粕汁）
	21 日	セレクト食（ネギトロ丼・麻婆茄子丼）
2 月	3 日	節分料理（いわしの昆布煮・五目煮豆）
	5 日	涅槃会（太巻き・銀鮭の柚庵焼き・いちご）
	12 日	セレクト食（かつおのたたき・チーズハンバーグ）
	24 日	セレクト食（サーモン漬け丼・ソースかつ丼）

3 月	3 日	桃の節句行事食(押し寿司・天ぷら盛り合わせ)
	7 日	セレクト食(ネギトロ丼・天津飯)
	17 日	セレクト食(タンドリーチキン・アジフライ)



元旦



盂蘭盆会



母の日御膳

8. 各委員会・部会活動報告

各種委員会を設置し、他事業も含めた全職員が参加して、改善すべき課題について検討を重ね、必要に応じて内部研修等を行った。

入所判定委員会（随時）

リスクマネジメント委員会（随時）

感染症対策委員会（毎月第1火曜）

感染症の発生については、施設ではインフルエンザ（確定は出来ず）が1件発生、デイサービスでは、職員と利用者、実習中の学生の感染報告があり、それぞれが医療機関・診療所での治療をすぐに開始し合併症などの重症例はなく完治した。感染対策として、感染委員会をすぐに行い、各職種・ユニット・デイサービス・居宅・ショート利用者、学生実習など、すべての各部署での対応を検討し速やかに対応していった。早期対応を実践したため、施設内での新たな感染者は出なかった。

今年のインフルエンザの傾向として、1月下旬から爆発的に流行するという特徴があったため、感染者が短期間に集中してしまったと思われる。

基本的な手洗い・うがいの強化と並行して、各ユニット入口にはアルコールとルビスタ消毒液・マスクを設置し、面会者の協力をお願いし、外部からの感染源（ウイルス）を遮断することを実施した。

また、発熱者の対応として、すぐに診療所受診できる体制になっているため、診断・治療が早期の段階でできたことが、集団感染予防につながった。

身体拘束廃止委員会（毎月第1水曜）

今年度は、リーダー・サブリーダー・他職種との連携を密になることで、苑として身体拘束の廃止に取り組んできた。入居者の退入所による入れ替わりがあり、その中で検討していくうえで一時的に必要な方が生じた。現在3名となっており、取り組みは継続しており、各スタッフ間での検討、ご家族の気持ちへの対応など行っている。また身体拘束の解除までには至らないが、部分的（時間）な解除を実施して廃止に向けて取り組んでいる。

転倒抑止・徘徊察知目的のセンサー使用者は相変わらず多い状況で、今年度末23名の方が使用中。居室内での体動を感知し、転倒・転落の事故防止目的の使用が増

えてきている。所在確認の為の使用は、その方の行動を把握することで安全に動ける環境を提供することでなくなっている。引き続き下肢筋力低下が原因で、立位や歩行が不安定になり転倒するケースが後を絶たないことから、いち早く動きを察知し、事故を未然に防ぐ対応を行っている。

今後は定期的な見直しを行いケースの検討だけでなく、身体拘束廃止を苑として取り組めるように、どのようにアプローチするかどのような場で検討するかなど流れを明確にする。またスタッフ皆が苑での身体拘束の現状と取り組みを認識できるように情報を共有化に努めていく。

事故防止委員会（リーダー会議内・随時）

各部署からのヒヤリハット・事故報告を基に、予防・対応策の検討を行った。

- ・ 今年度は大きな事故もなく経過することができた。引き続き日々の状態観察と情報共有を徹底し、リスク管理を呼びかけ事故防止に努めていく。
- ・ 現在の書式を再検討し、本来の意味でのヒヤリハット報告に戻していく。ヒヤリハットと事故報告の線引きを整理していく。
- ・ 事故防止のための過剰な対策は身体拘束に繋がることも憂慮し、生活・活動を損なわない安全確保を行っていく。身体拘束廃止委員会との情報共有・連携を図っていく。
- ・ 事故については委員会内で内容と対応・対策について報告を行い、また各部署の会議内でも他部署での事故内容について情報共有を行っていく。
- ・ 次年度も施設内研修を継続して行っていく。また、外部研修にも積極的に参加していく。

教育・研修委員会（毎月第1水曜）

- ・ 年度初めに施設長による「援助者としてのあり方～私たちが求められていること」の研修会をスタートした。
- ・ 新任職員や現職員の技術面の再確認として恒例ではあるが基礎介護技術（食事・入浴・排泄・口腔ケア・褥瘡・トランス）についてユニットリーダー・サブリーダーを講師として年間6回行った。
- ・ 必須研修の「食中毒について・事故防止対策について・感染症（インフルエンザ／ノロウイルス）・権利擁護／虐待について・身体拘束廃止について」各部署・委員長による研修を実施した。
- ・ その他「喀痰／吸引について・介護保険制度改正及び介護報酬の改定について」

など外部研修参加職員や専門分野の職員による講義も実施した。

- ・ 外部講師による「レクリエーション・アクティビティ」、「腰痛予防」、「ハンドタッチケア」、「やってみよう口腔ケア」、「水分補給や高齢者の栄養について」など幅広く職員が受講したい研修を取り入れ実施した結果、全体的には多くの職員に高齢者福祉施設に勤務するための必要な基礎的知識・技術の習熟を図ることができたのではないかとと思われる。
- ・ 年度末に参加回数を集計し上位者を表彰することにより、さらなる研修への関心や向上心など参加意欲に繋がるように努めた。

給食委員会（毎月第4水曜）

日々の給食内容についての反省点や検討事項などを協議し、より安心で安全な給食運営を行うため、月1回開催した。各専門職・厨房職員との意見交換を行い情報交換や共有を図り、季節感のあるレクリエーションや献立の運営を目指した。今年度はお楽しみランチをセレクト食に設定し、月2回行った。また、麺料理のリクエストが多い為、セレクト食の代わりに週1回麺料理を提供する月も設定した。次年度も引き続き、利用者のリクエストを取り入れた食事や季節の食材を使用した献立を取り入れていく。

排泄、褥瘡委員会（毎月第1水曜）

排泄

職員の排泄介助のスキルアップの為、メーカーの講師による排泄介助の講習会を開催。今年度も全職員を対象にした個々の入所者に合わせた介助方法のアドバイスをもらう講習会を開催していくとともに、各ユニット間で話し合い一人ひとりに合った種類のオムツ、パットを定期的に見直しコスト削減を図っていく。

これからも引き続きさりげない排泄ケアを目指して、個別の排泄ケアの取り組みを行い、都度援助方法を検討、ケアの統一を図り排泄パターンを調査・分析し、個々にあったオムツ等の選定及び援助方法の検討を行う。

下剤については安易に使用せず、少しでも薬に頼らない排泄のコントロールが出来るよう各職種間話し合い、下剤を使わないケアを心がけた。

褥瘡

褥瘡発生の原因追究に努め、その予防対策として、褥瘡マットの検討をした。症状にあったマットを選択し使用するに当たり、離床時間や安全面等個別性を考えてどのタイプが良いかを検討し、早期対応を心掛けた。

また、褥瘡予防マットの台数が不足している現状について、各ユニットリーダー

と話し合い、重症化している利用者にとって褥瘡マットの効果及び、重要性が高い事を考え、購入を検討していただいた。

業者からの製品説明会を2回実施。新しい褥瘡予防マットが納品され、各ユニットで褥瘡リストのある利用者を検討し有効に使用中。さらに経過を観察をし、褥瘡の予防効果などの評価して行く予定。

また、重症化した入居者（風邪や熱・肺炎・骨折や関節の痛み・癌疾患）など褥瘡リスクの高い方に対して、ユニットスタッフとの情報交換や、連携により必要な処置を早期に継続的に進めて行くことが出来た。

診療所受診時に創部の相談や指示をいただきながら、治療をすることができた。その中で、治癒困難な褥瘡に対して、他医療機関との連携をとっていただき、より専門的医療を提供することが出来た。

行事委員会（毎月第1水曜）

今年度も年4回の宗教行事を中心に、季節毎に恒例となった行事を滞りなく開催することができた。宗教行事と合わせて披露されるアトラクションも地域のボランティアの方々が様々な披露をしてくださった。春のお花見に始まる共生苑の年間行事は、大巖寺の桜を見て巡り、夏の一大イベント、納涼祭は天候にも恵まれ、当日プログラムに一部変更があったものの盛大に開催することができた。今年度もグラウンドでのステージ開催であったが、入居者との距離も近くとても有意義な時間であった。秋には敬老会、年末には恒例の餅つき会が行われ、今年度の餅つき会も、外の玄関前での餅つきとなり新年を迎える準備と、つきたての餅を入居者とその家族を交えて味わうことができた。

大きな行事だけでなく、毎月の書道クラブや法話会を行う上で、実習生や家族会の皆様、地域ボランティアの皆様の協力が欠かせない存在となっており、誘導や見守りのお手伝いや、会場の設営などにもご協力いただいている。

今後もボランティアの方々、ご家族、また地域の皆様の協力を得て、入居者のQOL向上を目指し楽しい行事を企画していきたい。



成道会



納涼祭

広報委員会（毎月第2火曜）

第29号を5月、30号を8月、31号を11月、32号を3月に発行した。発行時期を従来とずらし、内容に変化をつけている。苑内行事の写真撮影、ポスター掲示も例年通り行った。

リーダー会議（毎月第1水曜）

毎月、月初め、月末と各ユニットのリーダー・サブリーダーと各職種で、ケアの見直しや苑全体としての情報共有、各職種との意見交換を行った。人事により、新しくサブリーダーになったスタッフが数名いる。

次年度はリーダー・サブリーダー体制を整えて、それぞれの役割を果たし、ケアの質の向上を図りたい。また働きやすい職場となるように、業務の見直し等を行っていく。

記録部会（毎月リーダー会議時に実施）

部会としての活動はなく、各ユニットにて、リーダー・サブリーダーを中心に書き方や情報伝達の仕方などの向上に努めた。

次年度は記録が、ケアに必要な記録となっているか、介護日誌とケア日誌の書き方や記録用紙などの見直しを行っていく。

リネン部会（毎月リーダー会議時に実施）

リネン配布、交換について方法を周知し、概ね滞りなく提供ができた。掛け布団の年次交換も適切な時に実施することができた。引き続き、コスト削減への意識は次年度以降も課題といえる。

入浴部会（毎月リーダー会議時に実施）

特浴等も大きな故障も無く経過しているが、物品破損などが目立つので取り扱い方、報告連絡の徹底を図りたい。また特浴室などの環境整備も行った。

季節によって菖蒲湯・柚子湯など入居者様に入浴を楽しんでもらえた。

レク部会（毎月リーダー会議時に実施）

今年度は合同レクの活動にて、外出や外気に触れる機会を多く持つことができた。他職種の協力のもとまたユニット合同で、利用者とのレクリエーションを楽しみな

がらレクに参加している利用者のご様子を観察できる場となった。次年度も利用者のニーズに沿えるように対応していきたい。



鯉のぼり



かき氷

9. 防災対策報告

消防訓練については、例年通り各部署ごとに初期消火訓練・通報訓練・避難誘導訓練を中心に行った。震災から5年が経過し、地域の防災拠点として重要な役割も担っていくため、あんしんケアセンターと各福祉事業所を中心に自治会・社協等地域組織と連携し、非常時に機能するよう備えを検討していく必要がある。生浜地区地域福祉連携会議を通じ、地域における防災と見守り支援の在り方について意見交換を重ねていく。

| 防災実績

月	時間	訓練	内容
毎月1回	適宜	消防用設備自主点検	1. 消火器 2. 消火栓 3. スプリンクラー 4. 自動火災報知機 5. 放送設備 6. 非常ベル 7. 誘導灯 8. 建物等の自主検査
10月7日 2月10日	定期	消防設備法定点検の実施	1. 消火器 2. スプリンクラー 3. 自動火災報知機 4. 消防署通報システム（非常通報電話） 5. 非常警報器具及び設備 6. 誘導灯及び誘導標識 7. 非常発電設備など
6月25日	14:20 ～ 14:40	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
7月28日	14:00 ～ 14:20	総合訓練（夜間想定）	2階ユニットにおいて、火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
11月7日	14:20 ～ 14:40	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
2月27日	14:20 ～ 14:40	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
3月31日	15:00 ～ 15:20	総合訓練（地震想定）	3階ユニットにおいて、大規模地震を想定した火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。

10. 法話会活動報告

毎回参加者数が 30 名以上～多い時には 45 名も超え、入居者にとっても重要な行事となってきた。講師陣の話題も多岐にわたり、内容も様々で、参加者は講師方とのふれあいの機会を楽しみにしている方も多い。特に、参加するボランティア・実習生などにも貴重な学びの場となっている。

時間・場所 毎週金曜日 10：00～11：00（60 分）4 階 月影堂
参加者 講師 9 名による当番制で 2～3 名、入居者 25～36 名、
家族、ボランティア 4～6 名、実習生、職員 2～5 名

法話会実施状況

月	日付	入居者人数	家族人数	ボランティア	職員人数	実習生人数	講師人数	人数計	主な内容
4 月	3 日	27	0	4	4	0	0	35	桜の話、現代川柳（クイズ形式）、歌 2 曲
	10 日	25	1	4	3	0	2	35	紙芝居（桃太郎）、季節の歌、御詠歌
	17 日	29	1	4	3	0	2	39	資料参照「共生、共死について」、花見のお話し
	24 日	-	-	-	-	-	-	-	降誕会
5 月	1 日	27	1	5	2	0	2	37	追悼文、松山学園に行ったお話し
	8 日	26	0	4	4	0	3	37	大巖寺の川鵜のお話し、御詠歌、歌など
	15 日	25	0	3	2	0	2	32	資料参照「妬み・嫉みの次が大事」、平等院鳳凰堂の映像鑑賞、季節の歌 2 曲
	22 日	32	0	3	3	0	2	40	資料参照「願と行」に生きる人生、歌 2 曲
	29 日	31	1	4	4	0	1	42	資料「心書きとめたい言葉」、歌 3 曲
6 月	12 日	28	1	4	5	0	2	40	紙芝居、簡単な体操、御詠歌、歌 2 曲など
	19 日	32	0	4	3	0	3	42	資料参照「月光仮面」、「病から学ぶこと」、歌 1 曲
	26 日	31	1	4	3	0	3	43	七夕の話、知恩院での写経の様子を放映、歌 2 曲

月	日付	入居者人数	家族人数	ボランティア	職員人数	実習生人数	講師人数	人数計	主な内容
7月	3 日	28	1	4	5	0	3	38	追悼文、関西に出張に行った際の話し、曹洞宗 5代目 650 回忌の話し
	10 日	-	-	-	-	-	-	-	盂蘭盆会
	24 日	29	3	4	3	0	3	42	追悼文、紙芝居、土用の丑の日の話し、大岡越前の裁きの話し、御詠歌
	31 日	27	0	4	3	0	2	36	資料「いのちの理由」、お盆の話し、歌 2 曲
8月	7 日	26	1	3	3	4	1	38	納涼祭の話し、歌 2 曲
	28 日	26	0	3	5	0	2	36	資料参照「お盆について」、「老いの自立と戒め」
9月	4 日	27	1	5	5	4	2	44	お盆の話し、資料「人としての有りようについて」
	11 日	26	0	4	1	0	2	33	今回の大雨の被害について、体操、紙芝居、御詠歌
	18 日	32	1	2	5	5	1	45	敬老会の話し、共生苑の長寿の発表、実習生による体操、歌 2 曲
10月	2 日	29	1	5	3	0	1	39	資料参照「サハリン慰霊の旅」
	9 日	32	0	5	3	0	2	42	簡単な体操、紙芝居、歌 2 曲
	16 日	29	1	3	2	0	1	36	鶴見の総持寺についての話し、歌 2 曲など
	23 日	25	0	4	3	0	1	33	資料参照「善財童子と感恩奉仕について」
	30 日	31	1	5	3	0	1	41	頭の体操、資料「金子みすずの詩について」
11月	6 日	26	0	4	2	0	2	34	追悼文、仏の教えについての話し
	13 日	32	0	4	2	0	1	40	新聞記事の話し(入院中の家族見舞いで1コマ)、腕の運動、紙芝居(わらしべ長者)
12月	4 日	-	-	-	-	-	-	-	成道会
	11 日	36	1	5	2	0	1	45	資料参照「話しの玉手箱」、頭の体操
	18 日	33	0	5	4	0	3	45	手遊び、紙芝居、新聞記事から、民話、御詠歌
1月	15 日	27	0	5	4	0	3	39	物事の受け止め方を考えさせられる話し、写経のやり方、お布施の話し

月	日付	入居者人数	家族人数	ボランティア	職員人数	実習生人数	講師人数	人数計	主な内容
	22 日	30	1	4	3	0	1	39	追悼文、資料参照「坂村真民さんの詩の朗読」、歌 2 曲
	29 日	30	2	5	2	0	1	40	お寺の正月の過ごし方、干支の申にちなんだ話し
2 月	5 日	-	-	-	-	-	-	-	涅槃会
	19 日	22	0	5	2	0	1	30	資料参照「詩の朗読、解説」
	26 日	32	0	5	2	0	2	41	風邪を引かない体操、紙芝居、季節の歌
3 月	4 日	29	0	5	3	0	2	39	寛永寺に勉強に行かれた話し、ゆっくりと散歩を楽しむことのすすめ
	11 日	33	0	5	2	0	1	40	東日本大震災の話し、季節の歌 2 曲
	25 日	27	0	3	3	0	3	36	資料参照「共命鳥」、「ふるさとは遠きにありて思ふもの」、追悼文
合計		1037	20	149	111	13	65	1393	



降誕会



涅槃会

11. ボランティア受入報告

今年度も定期的なボランティアのほか、行事のボランティアなど、多くの個人やグループ、地域のご協力をいただくことができた。

日程	活動内容	活動場所、イベント	所属（グループ名）	人数
毎週月	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週火	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週水	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週水	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週木	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週金	喫茶の運営、勤行の見守り	喫茶サイホオン	—	2名
不定期・継続	車椅子の修繕、点検	特養ユニット・デイ	—	1名
第1.3月曜	書道	特養ユニット	コスモス会	2名
第1.3月曜	書道の見守り・誘導	特養ユニット	—	1名
不定期・継続	華道	デイ	—	1名
不定期・継続	書道	デイ	—	1名
毎週金曜	勤行の見守り等	勤行	—	3名
隔週木曜	傾聴	特養ユニット	—	1名
隔週金	歌の演奏・合唱	特養ユニット	ひろの会	1名
6月19日	南米音楽	特養ユニット・デイ	フォルクローレ 同好会風雅	4名
7月10日	アコーディオン・ハーモニカ演奏	孟蘭盆会	—	1名
7月23日	フラダンス	特養ユニット・デイ	フラダンス ボランティア	11名
7月26日	子供型参加ゲーム	納涼祭	ゼロファイターズ	10名
7月26日	和太鼓	納涼祭	天父報恩鼓	17名
7月26日	日本舞踊	納涼祭	葉月会	20名～
7月26日	和太鼓	納涼祭	紅獄太鼓	8名
7月26日	見守り	納涼祭	淑徳大生	8名
8月25日	誘導・傾聴	特養ユニット	城西国際大生	2名
9月13日	和太鼓	敬老会	蘇我太鼓	10名
10月22日、2月16日	車椅子清掃	郵政労組奉仕活動	J P 労組	20、17名
12月17日	トーンチャイム	クリスマス会	結	27名
12月25日	餅つき	餅つき大会	—	4名
1月7日	ニューイヤーコンサート	コンサート	淑徳大学看護栄養 学部生	50名～
2月25日	フラダンス	特養ユニット・デイ	フラダンス ボランティア	10名
				約243名

喫茶サイホン実施状況

月	稼動日	コーヒー	紅茶	梅昆布茶	ココア	緑茶	季節茶	合計
4月	21日	284	16	56	28	12	2	398
5月	18日	251	6	30	14	19	31	351
6月	21日	281	15	55	28	18	21	418
7月	20日	232	2	53	33	18	0	338
8月	15日	199	4	40	20	9	33	305
9月	18日	219	10	20	18	7	51	325
10月	19日	222	5	28	7	9	32	303
11月	18日	198	5	34	11	11	8	267
12月	15日	228	21	37	14	21	37	358
1月	16日	227	1	29	17	14	26	314
2月	17日	241	7	37	22	6	31	344
3月	21日	269	7	32	30	23	25	386
計	219日	2,851	99	451	242	167	297	4,107



ひろの会



クリスマス会



弾き語り



生実町婦人会慰問

12. 家族会報告

発会から5年目となり、年2回の清掃奉仕、敬老会、もちつき大会の共催には毎回多数の家族の協力が得られた。定例となった共生苑への寄贈・提供については、当初ウォーターサーバーを提供し、その後喫茶サイホンにて入居者・家族・来客・職員など、誰でも利用可能な給茶器等を提供した。

その他、平成27年度は以下のように運営された。

活動内容

頻度・日時	内容
5月31日	第一回役員会・清掃奉仕・総会・懇談会
9月7日	第一回役員会
9月13日	敬老会に紅白饅頭を提供
12月13日	第二回清掃奉仕・懇談会
12月25日	もちつき大会
随時	共生苑職員へ祝い金支給、ポロシャツ支給
随時	退所者へ香典、餞別支給



家族会総会



もちつき会

